



田代町誕生に当り

県會議員 柴立芳文

柴立芳

定がなされその一次計画
中に田代村は合併すべき
として指定を受けたのは
承知の通りです。

我々の郷土を或は町を良くするも悪くするも我々一人一人の責務である事をこの機会に充分反省すべきではないかと考えます。

四月一日から田代町が生れる事になり皆さんと共に御同慶いたえません。 村から町へ、我が郷土が地域社会を形成してから長い歴史の中に幾多の自治体

柴立芳文
々が出したりもらつたりする郵便物が今迄の村の文字が町に代る位が変化と云へましよ。然し乍ら大隅半島最後の村であつた事、歴史的なもの或は精神的なものには大きな意義が存するものと思います。

日本の国の行政の最前先として町村は法律で定められた自治体ですがこれ迄の

承知の通り
その后合
民は幸福に
世論が強く
制的な策定
られた訳で
此の様な
に至り、こ
事になりま
私は町制
の今后の行
様な経過の
一層の意義

です。
併しても田代
なれないと云
二次計画の際
から削除して
す。

この機会に充分反省すべきではないかと考えます。町民の良識と英知を集めても、町民のすべてが自由であり幸福な生活を営む事が出来る様に、町民一人一人の立場で最善の努力をする事だと思います。

平和で幸福な田代町が先輩の各町を尻目に本当の意味で生れる事を祈念してやみません。

県会開会中で拙文多謝

Journal of Health Politics, Policy and Law, Vol. 35, No. 4, December 2010
DOI 10.1215/03616878-35-4 © 2010 by The University of Chicago

4月1日町制をお祝いして行われ
たミス田代と自動車の町内一周パレード



花瀬公園での町制祝賀会場でお祝いのことばを述べる

金丸副知事

4月1日初めて町となつた日歴代村長に
感謝の意を表して行われた慰靈祭（於小学校講堂）



たのです。
この様な歴史を持つ田代
村が、町として生れます。
今の時点では村から町へな
つても我々の生活や自治体
には大きな変革はありません

來政府は、町村に云う自治体を適正な規模にするために小さな町村を合併した方が近代的な行政が出来るところ見地から、町村合併促進法を制定しました。その法律により、県の計画の等

「祝町制施行」村が喜んで迎えずして七十四才で町長になつた。こんなうれしいユースはめつたにない。々才だ、特に我々ウシ年生れた者には、又とな

佐多民俗を
と思う又この反面篤
余り、依頼心と人を重
くする点があるようにも
う。この点は他郷に出
る者なら時々こんな事
年によさせられる時がある。

牛歩を一步進めよう

佐多民俗

れその一次計画の
村は合併すべき村
定を受けたのは御
定から削除しても
な経過を辿り今日
です。
合併しても田代村
にならないと云う
く二次計画の際強
い町制を敷く
ました。
町制施行に当り我々
行動が今迄の此の
の中で生れる事に
義を持つものと思
う。○

二二二二二二二二
牛歩を一步進めよう

佐多民介

施行し村が喜寿を
て七十四才で町に
こんなうれしいニ
めつたにない。万
特に我々ウン年に
には、又とないよ
い年に生れたもの
だと思わざるを得
ない、今年は還暦
同窓会を開き度い
と昨夏より面面中
であつた。この事
も亦実現するであ
ろうと喜んでいる
人情の厚い温厚で
従順な田代町民性
!!それは四面山に
囲まれた田代盆地
の自然環境からし
て、あの川の清き
流れ町民性をつく
つたものだと思う
。環境の支配が性
格に如何に影響するかは万人の知るところ、この町民性は何処までも持続伸展さるべきだ

我々の郷土を或は町を良
くもするも悪くするも我々
一人／＼の責務である事を
この機会に充分反省すべき
ではないかと考えます。
町民の良識と英知を集め
て町民のすべてが自由でよ
り幸福な生活を営む事が出来
る様に、町民一人／＼の立場で最善の努力をする事
だと思います。
平和で幸福な田代町が先
輩の各町を尻目に本当の意
味で生れる事を祈念してや
みません。

県会開会中で拙文多謝
三月二十日

4月1日町制をお祝いして行われたミス田代と自動車の町内一周パレード



